

本人直接応募

社会福祉法人さぽうと 21 就学支援（奨学金）

つば い ち ろ う じ ん こ

2027 年度「坪井一郎・仁子 学生支援プログラム」（坪井基金） 募 集 要 項

概 要	社会福祉法人さぽうと 21「坪井基金」について			
	東洋熱工業株式会社の創業者、坪井一郎・仁子ご夫妻の遺贈をもとに、2005 年に開始いたしました。日本に定住する 外国にルーツをもつ学生 で、優秀な成績を収め、将来国内外で活躍が期待されるものの、経済的に学業の遂行が困難な人に「生活支援金」を支給いたします。また、研修会や面談等を通じて進路や生活全般の相談に応じ、卒業後の自立に向けて学生生活を支援します。			
応 募 資 格	応募期間	2026 年 10 月 5 日（月） ～ 11 月 20 日（金） ※ 必 着		
	日本での 在留資格	日本に定住する外国にルーツをもつ学生で、以下の a または b に該当する人 a) 難民とその子など、本人／親が難民またはそれに準ずる背景により来日した人 b) 原則として「定住」「永住」の在留資格をもつ人 ※ 既に日本国籍になった人も含む ※ 「留学」の在留資格は対象外		
	学 年	2027 年 4 月に 大学 3 年生以上 または 大学院 在籍／進学見込み ※ 主に理系を優先（専攻分野の指定なし） ※ 大学院については、修士課程優先		
給 付 内 容	期 間	2027 年 4 月 ～ 2028 年 3 月	人 数	20 名 程度
	金 額 (原則)	■ 大学院生 : 72 ～ 120 万円 / 年 ※ 返済の義務なし ■ 大 学 生 : 60 ～ 100 万円 / 年 ※ 他の奨学金と重複して応募可		

社会福祉法人さぽうと 21 とは（1992 年設立）

日本に定住する難民、中国帰国者、日系定住者及びその子弟など、外国ルーツの人々の自立を支援する団体です。難民の定住支援を目的として 1979 年に設立された「インドシナ難民を助ける会」（現 AAR Japan [認定 NPO 法人難民を助ける会]）の国内事業を引き継ぎ、1992 年に社会福祉法人として設立されました。

〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズホビル 6 階 TEL : 03-5449-1331 / Email : info@support21.or.jp

応募方法

応募期間：2026 年 **10 月 5 日（月）～11 月 20 日（金）** ※ 必 着

1 応募書類提出

2 一次選考 （書類）

3 二次選考 （面接）

< 応募書類 >

提出方法：レターパック、簡易書留（郵便局窓口）、持ち込み

① 応募用紙

ホームページよりダウンロード可
[https:// support21.or.jp](https://support21.or.jp)

② エッセイ

来年度の研究計画について

800 ～ 1000 字程度（日本語）
A4 横書き
必ず氏名を記入すること

③ 推薦状

推薦者は指導教官が望ましい
ホームページよりダウンロード可
※期日までに提出することが難しい
場合は応相談

④ 住民票

同居する家族全員分
国籍、在留資格、続柄 明記

⑤ 収入の状況を示す書類

以下の a または b を提出
生計を同一にする家族分（学生以外）

a 課税証明書

b 生活保護 受給証明書

⑥ 成績証明書

3 カ月以内に発行されたもの
GPA が明示されたもの

⑦ 合格通知書（コピー）

2027 年度 入学予定者 のみ

追加書類の提出をお願いすることがあります。

結果通知：12 月下旬

面接選考

1 月 17 日・24 日
（日曜）

当法人事務所で実施予定（交通費支給）
受験校に不合格だった場合は再選考

結果通知：2 月中旬

支援生に選ばれたら以下の義務があります

8 月 頃 夏期研修会への参加

11 月 頃 研究報告会での発表

毎月 研究活動等の近況報告

※その他に講演会、交流会での発表や、寄稿
などをお願いすることがあります。

社会福祉法人さぽうと 21

坪井一郎・仁子学生支援プログラム 受付係

〒141-0021

東京都 品川区 上大崎 2-12-2 ミズホビル 6 階

TEL：03-5449-1331 / Email：info@support21.or.jp

（対応時間：平日 午前 10 時 ～ 午後 5 時）